四万十市産業振興計画の目指す将来像と構成

産業版興計画の推進によって目指す将来像(10年後の成功イメージ)

地域資源を活かした産業の力みなぎる四万十市

この将来像(成功イメージ)には、「地産地消」(地元で購買する、地元企業・地元産品を使うこと)をRELし市内における経済の循環を大きくするとともに、本市が有する豊かな地域資源(IUII)海すべてそろった豊かな自然環境、優れた農林水産物や 加工品、"食"、さらには歴史・文化など)を育て、磨き上げ、組み合かせることで新たな付加価値を生み出し、"四万十"のブランド力を磨き、余すところなく発言し売り出すことで、市外からお金を稼ぐ「地産外商」を推進し、競争力があり港続回能 な産業としての力みなぎる四万十市にしていきたいとの思いが込められています。

計画全体を貫く目標(1)

■10年後(令和6年度)の市内総生産額1,150億円以上を目指す

〇各産業分野の取り組みと産業間連携による「地産地消」、「地産外商」の推進により生 産額を増加させ、令和6年度に市内総生産額 1,150億円以上を目指す。

| 参考: 平成 28 年の市内総生産額 1,138 億 6000 万円|

「産・官・学・金・労・言」の連携 訓生事業の活用 戦計画との連携と協 シティプロモーションの推進 SDGsの取り組みを促進 移住促進による活性化

計画全体を貫く目標 ②

■令和2年から令和6年までの人口の社会増減(転入数 と転出数の差による増減)をプラスにする

D産業振興計画の推進により産業力を高改、若者が働ける場を増やす。

り入口の対対部へ し、・若者の流出を抑制

・レーターンの受入れも可能に

(参考: 平成27~30年(年平均)の社会増減社会減▲888人》

"四万十"をまるごと発信・販売

"四万十"のブランド力を磨き、余すところなく発信し売り出すことで、市外からお金を稼ぐ「地産外商」を推進~ δ

を生み出す~ ~「地産地消」(地元で購買する、地元企業・地元産品を使うこと)を促進するとともに、豊かな地域資源を組み合わせることで新たな付加 産業間連携テーマ:「地産地消の促進」・「地産外商の推進」

92億8000万円 140億758万円 [基準値:H24] [直近值:H29] 〇製造品出荷額等 160億円以上 95億円以上 [10年後] [5年後] ◆顧客に選ばれる商工業と 賑わいの創出 商工業分野 690億7,100万円 798億1,000万円 [直近值:H27] [基準値: H19] 年間商品販売額 750億円以上 800億円以上 〇」売・卸売業 [5年後] [10年後] (田脂り数) 【基準値:H24】 (直近値: H29) 35 t以上 [5年後] ◆次世代へつなぐ資源回復と 安定し魅力ある水産業 [10年後] 15 t 以上 14 t 30 t 液準置 水産業分野 【直近值:H29】 【基準値:H24】 [10年後] 50 t以上 [5年後] 65 t IV.E 〇九大同漁業 49 t 56 t (目指す姿) 数値目標 海海軍 7億5,000万円 [基準値:H24] [直近直: H29] 8億496万円 [5年後] 8億円以上 製造品出荷額等 ブクラスのヒノキ産地 9億円以上 〇木村・木製品 [10年後] 齨 林業分 ◆山で岩着が働く 全国トップ [基準値:H24] 75,000 ㎡以上 60,000 ㎡以上 [恒治備: H29] 47,000 m³ 71,945 m³ [5年後] [10年後] O原木生産 (目指す姿) 数值目標 (回近面: H3O) 【基準値: H25】 150 人以上 150 人以上 〇認定農業者数 [10年後] [5年後] 127人 139人 ◆豊かな食を育み、 地域で暮らし稼げる農業 齨 尔 継 [5年後] 43億1,000万円 [10年後] 【基準値: H26】 眦 [恒近值: H29] 45億円以上 43億円以上 〇農業産出額 34億円 H31 8

産業間の連携を強化する 基本戦略② 足腰を強め、地力を高める 基本戦略①

産業の担い手、人材の確保・育成 基本戦略④ 情報発信と外商の強化 基本戦略③

22万2,115人 [基準値:H25] 21万1,000人

118万466人 [基準值:H25]

[直近直: H30]

125万6,000人

[直近直: H30]

22 万人以上

130 万人以上

[5年後]

25万人以上

130万人以上 [5年後]

[10年後]

[10年後]

おもてなしの "環光" 地

▶地域の誇りが人を誘う、

(目指す姿)

齨

観光分

〇市内衙泊者数

〇観光入込名数

(数值日標)

商工業・観光をけん引役

に産業を骨太なものに

押し上げる!

		と目指す姿		定應業者数 −500人以上を目指す 業産出額 450億円以上を目指すかな食食を育み、地域で暮ら	ررو	稼げる農業』		
		R2 R3 R4 R5 R6 N0年後の目標と目指す姿	施策とアクションプラン [Ver2]	数	(2) 集出荷支援体制の充実(集出荷拠点協認の運営・活用(まか) (3) 地域均農業者の共同生産体制の構築	1 地元農畜産物の利用促進 (1) 地元農畜産物の利用促進 市本量販店等を拠点とした販路拡大 (まか) (公共協設での利用促進 市本量販店等を拠点とした販路拡大 (まか) (2) 直販機能の強化 2 ブランド化の推進 (準路品目 (ぶしゅかん ゆず、栗、米ナス) などのブランド(と 新食肉センター型補に生う養務場の型補促進 (おいっかん (ゆず、栗、米ナス) などのブランド(と 新食肉センター型補に伴う養務場の型補促進 (まか) (2) 地元農畜産物を使った商品の開発・販売 (商品の開発、産業電車拠による外商活動 (まか) (2) 地元農畜産物を使った商品の開発・販売 (商品の開発、産業電車拠による外商活動 (まか) (2) 有機農業の推進 (1) 有機農業の当後、客発活動の推進 (2) 有機農業の当及、客発活動の推進 (2) 有機農業の当及、客発活動の推進	 1 新規就農者の確保・育成 (1) 新規就農者の研修支援(四万十農園あぐりっこ」、「西土佐農業公社」、「先進農家」での実践研修 産地提案書の策定(3) (2) 新規就農支援体制の拡充 (4度达支援体制の介美、経営安定や就農制と特の支援) (3) 移租に進しよる新規就農支援(移住的農者の語数活動) 2 認定農業者等の育成 (1) 認定農業者等の育成 (1) 認定農業者制度の高KB出 (2) 認定農業者制度の高KB出 	 (1) 農地の利用調整 (1) 農地利用の円滑化(農地中間管理機構の活用、農業委員による農地の利用調整、人農地プランの実施化(また) 2) 基盤整備の推進(ほ気整備(また)) 2 耕作放棄地対策 (1) 耕作放棄地の再生及び発生防止対策(「中山間地域等直接支払」、「多面的機能支払」の制度活用(また) (2) 適合品目の栽出記進(果特等適合品目の産地化推進)
	取り組み	知识	2 4 8 4 8			は、まないの生態を無いない。 まないの 生態を はいい はい	着数 ―200人	6
番	産業振興計画の取り組み	5年間 (H27~H31) の取り組み	施策とアクションプラン	 1 戦略品目の生産拡大 (1) ぶしゅかんの産地づくり (2) ゆずの産地化促進 (3) 栗の産地再生 (4) 有望品目の産地強化(米ナス、キュウリ、ピーマンなどの有望品目の育成、新規作物導入の支援) 2 生産性の高い栽培技術の導入 (1) 学び教えあえる場づくり(無農家から助言・指導が受けられる体制整備(まか) (2) 環境保全型農業の推進 (3) 集落営農の推進 (4) 集落営農の組織化、法人化の支援 (5) こう方型集落営農の実践(収益性の高い品目を導入した組織の育成・支援) (7) こう方型集落営農の実践(収益性の高い品目を導入した組織の育成・支援) (8) 生産・出荷支援システムの構築 (9) 世代支援を対しており 		 1 地元農畜産物の利用促進 (1) 地元背積拡入に向けた即%Bみの強化 (2) 直販機能の強化 (2) 直販機能の強化 (3) 上市農畜産物を使った商品の開発・販売(商品の開発・販売(商品の開発・販売(商品の開発・販売(商品の開発・販売(商品の開発・販売(商品の開発・販売(商品の開発・販売(商品の開発・販売(商品の開発・販売(商品の開発・販売(商品の開発・販売(商品の開発・販売(商品の開発・販売(商品の開発・販売(商品の開発・販売(商品の開発・販売(商品の開発・販売(商品の開発・販売(で品の開発・販売(商品の開発・販売(商品の開発・販売(商品の開発・販売(で品の開発・販売(で品の開発・販売(商品の開発・販売(で品の開発・販売(商品の開発・販売(商品の開発・販売(商品の開発・販売(商品の開発・販売(商品の開発・販売(商品の開発・運搬による外商活動)ほか) (1) 有機農業の推進 (1) 有機農業の強及・啓発活動の推進 (2) 有機農業の強及・啓発活動の推進 	 1 新規助農者の確保・育成 (1) 新規助農者の確保・育成 (2) 新規制農者の研修支援(「四万十農園あぐりっこ」、「西土佐農業公社」、「先進農家」での実践研修) (2) 新規制農支援体制の拡充(格配支援体制の方案、経営安定や結農制制治の支援) (3) 移住民権による新規制農支援(移住就農者の誘致活動の強化(おか) 2 認定農業者等の育成 (4) 認定農業者等の育成 (5) 認定農業者等の方式 (6) 認定農業者等の方式 (7) 認定農業者等の方式 (8) (1) 認定農業者等の方式 	1 農地の利用問整 (1) 農地が利用問整 (1) 農地が用の円滑化(農地中間管理機構の活用、農業委員による農地の利用問整 (2) 営農(理当等に応じた農地の集積(農業振興地域整備計画の全体見直し「ほか) (3) 基施整備の推進(は3点整備 ほか) (4) 基件的理地均衡 (1) 基件的理地均衡 (1) 基件的理地の再生及び発生防止対策(「中山間地域等直接支払」、「多面的機能支払」の制度活用 ほか) (2) 適合品目の栽培配進(果樹等適合品目の産地化推進)
業	ı		戦略のポイント	○地域に根ざした有望 品目、戦略品目の産 地形成 ○生産性の向上 ○安全・安心による選 ばれる産地 ○治績地の裁判権総当		○地元農産物の利用促進(市が消費の拡大、 加工商品への利用促進) (金) ○・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	○新規就議者への支援 策を強化 (の意欲ある機業者を育 成 (公組織リーダーを育成	〇円滑な機切利用 〇担い手への機地構造 〇基盤整備による効率 的な農業経営 〇数件砂寒地の再生と 発生防止
骶		4<	戦略の柱	産地としての維持・強化		地で襲音産物の利用・販売促進	担い手の確保・育成	泰 地の利用促進
		現状		農業者数 127人(H次)産出額 34億円(H次)				

		駅 原本産量 てら、000寸方メートル以上を目指す木材・木製品を活出荷錦等 3億円以上を目指す。「山で苦者が働く、全国トップクラスのヒノキ産地。									
		R2 R3 R4 R5 R6 10年後の目標と目指す姿	施策とアクションプラン [Ver2]	1 長眼が鳴点に立う定連む子(の (1) ヒノキ産地としての意識の最初 (2) 計画的な赤体管理・発達の応載 (子 5) 手間の (3) 有需型 (3) 大型 (4) と ノキ産地としての意識の最初 (4) 自動のな赤体管理・発達の応載 (7) と クラ (4) 自動のな赤体管理・発達の応載 (7) と クラ (4) と クラ (4) と クラ (4) と クラ (4) を (
	区の組み	祖	2	原末生産量(GO、OOO立方メートル以上を目指す)(「京本」) 平成29年原末生産量(フィ、945立方メートル)本方立方メートル、大材・木製品製造品出荷領等(8億円以上を目指す)(「いい)) 平成29年木材・木製品製造品出荷額等(8億496万円)							
番	産業振興計画の取り組み	5年間 (H27~H31) の取り組み	施策とアクションプラン	(1) と、才種地としての意識の確認 (2) 計画的な素が指揮・経営の危援(接営権型の指揮、デーン管理の徹底) (3) 担害のは素が化産機の指進(森林経営計画策定の限進、素の工場の推進 目が)) (4) 長快期能業が指揮・経営の度進(森林経営計画策定の限進、素の工場の推進 目が)) (5) 長供助能業が指揮・関北人よの最大生産が拡入 (1) 表体がお中に向した自地、関北の実践 (2) 長状的能薬性・同じた自地、関北の実践 (3) 他コスト用き体、育成は、高原な表 (4) 林業事体や出り手の確認、育成 (5) 他業の効率化と低コスト化(体業資体林業機が導入への支援 ほか) (5) 他はの方件に向した自地、関本の実践 (6) 他は次及び体業技術を可言の支援 (7) 林球線が自動の活動がし、デーンの方面、有品力の強化 (8) 本当化、本語が効率化 (9) 本当化、本語がある経費の対域 (1) 大地機関の工産地、本語力の強化 (1) 本体を取出の大・商品力の強化 (1) 本体が高ネットワープの構築(本格が適における事業者間の連携強化) (1) 本体が高ネットワープの構築(本格性を建立支援へが改進 (1) 本体が過ネットワープの構築(本格性を建立支援へが改進 (1) 本体が過ネットアープの構築(本格性を建立支援へが改進 (2) 株が高ネットアープの構築(本格が適における事業者間の連携強化) (3) 本者化、本質化への有限を推進の強化 (4) 本は経験のの企業による流過経費の関係 (5) 本者化、本質化への情報発信、器及・路発の強化 (6) 本者化、本質化への情報発信、器及・路発の強化 (7) は野地が対等の機性の促進 (8) 本者化 本プランドの確立 (9) 四万十七、オブランドの確立 (1) 配力十七、オブランドの確立 (1) 配力十七、オブランドの確立 (1) 配力十七、オブランドの確立 (2) 四万十七、オブランドの確立 (3) 四万十七、オブランドの確立 (4) 周齢を認りの接近は、育成 (5) 四万十七、オブランドの確立 (6) 四万十七、オブランドの確立 (7) 福齢を認りでは、育成 (8) 20万十七、オ型のの独立の対理 (9) 四万十七、オブランドの確立 (10) 無機を取り後の対理を正な、育成 (11) 精制を確めの生産が、育成 (11) 精制を確めの生産活動の支援をPR							
業			戦略のポイント	○ピノキ産地として 山小の間でなるの 山小の間でなるの 一川のの間でなるの 一川のなどなる。 一川のなどでは、 一川のなどでは、 一川のなどでは、 一川のなどでは、 一川のなどに、 一川のでは、							
*		現状		で 「							
業分		現状 5年間 (H27~H31) の取り組み	数 の 本 を を を を を を を を を を を を を	Lydebuckの Lydebuck Ly							

	日指す姿	m Si Si	■編業編纂 155トン以上を目指す 水面漁業漁業 500トン以上を目指す 世代へつなぐ資源回復と安定し魅力を	8る水産業』	
	R2 ► R3 ► R4 ► R5 ► R6 ► NO年後の目標と目指す答	施策とアクションプラン [Ver2]	 1 天然水産資源の回復、1箩値 (1) 漁場環境、資源量等の調査・研究(天然アコ等の調査・研究(ほか) (2) 社局・漁島環境の保全・整備(アコの産卵場の再生・保全、イセエビ漁舗設置(ほか) 2 栽培漁業等の推進 (1) 効果的な種苗が流の推進(放流への支援・効果検証) (2) アオサの生産拡大、新行な漁場の開拓、生産・品質管理の御庭(まか) (3) スシアオノリの栽培技術の研究などへの支援 (素証場給課を踏まえた栽培技術の利及上(まか) (3) 土ツアオノリの栽培技術の研究などへの支援 (素証場給果を踏まえた栽培技術の行及し(まか) (3) は関係でない一方くり(效果的な禁漁区、禁漁期の設定(おか) (2) 薄原保護のための情報発信の強化 (3) は原務にないしいくり(效果的な禁漁区、禁漁期の設定(おか) (2) 資源保護の定めの情報発信の強化 (3) は、大力のの研修を含めの研修をフォローアップ(受入漁家による研修制度の充実(まか) (4) 新規就業者のための研修・フォローアップ(受入漁家による研修制度の充実(まか) 	 1 水産物の高付加価値化の推進 (1) 今ある荷品の磨き上げ(品質管理の向上、商品力の強化) (2) 新たな荷品開発 (4) 集場の定といの配と人利活用、新たな荷品の企画・開発の支援) 2 販売力の強化と販路拡大 (1) 無業協同組合の販売力の強化「「あゆ市場」の販売力の強化「ほか) (2) ブランド力の強化と販路拡大(ブランディングの構築と発信、産業間連携による外商活動、四万十組のブランド化の推進(ほか) (2) 万シドカの発生が発達 (3) 無食文化の磨き上げと発信 (4) 無食文化の磨き上げと発信 (5) 無食文化の発き上げ(同年で楽しめる無食文化の創造(ほか) (6) 無食文化の発言出が(同年で楽しめる無食文化の創造(ほか) (7) 無食文化の発言強化(グルメイベント等での無食文化の発信) 	1 体験交流の推進 (1) 魅力ある体験商品づくり(体験商品の磨き上げ) (2) 体験数率等の開催(体験カリキュラムの作成、漁協における受入体制の強化)
	双の組み開まれ	20世里			
野	産業振興計画の取り組み 5年間 (H27~H31) の取り組み	施策とアクションプラン	1 天然が産資原の回復、増殖 (1) 漁場環境、資源量等の調査・研究(高知大学等との連携事業 (まひ)) (2) 生育・漁島環境の保全・整備 (スジアオノリ生育・漁島環境の保全・整備、イセエビ漁 (職設置 (まか)) (3) 起路業等の推進 (効果的なが応済がの確立、 放流への支援) (4) 効果的な種由放布の推進 (効果的なが応済がの確立、 放流への支援) (5) アオサの生産拡大 (新たな漁島の開充、生産・品質管理の徹底 (まか) (6) スジアオノリの栽培技術の研究と実践 (高払大学との連携事業 (集団環) と実践) (7) スジアオノリの栽培技術の研究と実践 (高払大学との連携事業 (集団環) と実践) (8) スジアオノリの栽培技術の研究と実践 (高払大学との連携事業 (集団環) と実践) (9) スジアオノリの栽培技術の研究と実践 (高払大学との連携事業 (ま団環) と実践) (1) 漁場利用の新たとルールづくり (効果的な禁漁区、禁漁期の設定 (まか) (1) 漁場の下のの情報発信の強化 (漁業者、市民 (遊漁者含む)の資源保護意識の関政) (1) 漁場化の促進 (漁業協同組合、漁業者グループによる協業化の促進) (1) 協議化の促進 (漁業協同組合、漁業者グループによる協業化の促進) (2) 新規制業者のための研修・フォローアップ (受入漁家による研修制度の済実 (まか))	 1 水産物の高付加価値化の推進 (1) 今ある商品の磨き上げ(品質管理の向上、商品力の強化) (2) 新たび商品開発等 (本利用資源等(維集など)の協起した利活用、新たな商品の企画・開発の支援) (本利用資源等(地線など)の協起した利活用、新たな商品の企画・開発の支援) (1) 漁業商品と販路拡大 (1) 漁業商品と販路拡大(ブランディングの構築と発信、産業問事携による外商活動(はか) (2) ブランド力の強化と販路拡大(ブランディングの構築と発信、産業問事携による外商活動(はか) (3) 無食文化の磨き上げと発信 (1) 無食文化の磨き上げと発信 (1) 無食文化の発き上げと発信 (2) 無食文化の発き上げと発信 (3) 無食文化の発信金はで楽しめる無食文化の急値(まか) (2) 無食文化の発信強化(グルメイベント等での無食文化の発信 	1 体験交流の推進 (1) 魅力ある体験商品づくり(体験商品の磨き上げ、川の体験ガイドブックの作製) (2) 体験数産等の開催(体験カリキュラムの作成、漁湖における受入体制の強化)
産業分		戦略のポイント	の機能的な調査・研究 と効果的な資源回 復・維持 の財活練業による安定 的な財給 別の種質原保護への意 職の種の人資源管理 の興哉 の無数 の無数 との	の四万十三プランドの 維持・強化 の未利用資源(維制な と)を活かす の販売力の強化と販路 拡入 の魅力ある条度文化の 創造	OIIを無への織し歩た 関で何意める OUD十二階かり深く 体験してものじ
米	1	製品の抽	水産資源の回復。 生産量した	水産物の加工・販売促進	水産資源を活用した交流の拡大
	照		国際業務 達置 ろのトン(HZ) 水面溶業海 線量 らのトン(HZ)		

		に目指す姿	-	き品荷額等 −60億円以去含指す売・9元業全間質能需額 750億円以上を目指客に選ばれる商工業と賑わいの創客に選ばれる商工業と賑わいの創			
		R2 R3 R4 R5 R6 10年後の目標と目指す姿	施策とアクションプラン [Ver2]	1 地域資源を活かした商品開発 (1) 今ある特種品等商品の磨き上げ(品質や味、ラベル等の磨き上げや表示の適正化(ほか) (2) 魅力ある素材アイデアの掘起し(事業者間のマッチング(おか) (3) 新たな特種品等の箱品開発(企画・開発支援(まか)) (4) 商品の原路開石・販売促進(商談会等原路開石への支援、産業間連携による販売促進活動(まか) (5) 商品開発・販路開石の中核となる人材、総織の育成等(新食肉センター整備・新食肉センターを核とした出頭産業の振興(まか) 2 四万十の"食"文化の磨き上げと発信 (1) 四万十の"食"文化の磨き上げと発信 (1) 四万十の"食"文化の磨き上げと発信 (1) 四万十の"食"文化の精き上げと発信 (1) 四万十の"食"文化の精度し、厚き上げ、塩だたきのブランド化) (2) 地域を拠点とした食の発信(食の発信イベントの拡布等、一元的な「精解発信の限度) (3) 都市圏等を拠点とした食の発信(県外事業者の拠点を活用した外商推進(まか) (4) 施設の長寿尚化・南海地震効策の強化による建設事業の確保 (1) 施設の長寿尚化・南海地震効策の強化による建設事業の確保	1 中心市街地・商店街等の魅力・駅フハづくり (1) 回遊性と集客力向上のための拠点づくり(新たな拠点(土豫銀行跡地)による賑力いの 創出、文化複合施設による賑わいづくりなど) (2) 商店街の機能向上(中心商店街活性化協議会の開催、情報発言機能の充実(おか) (3) 日常の賑わいにつながる仕組みづくり(イベント等活性化の仕組みづくり、個性が先 る店舗の集賃(おか) (4) 空き店舗対策(空き店舗情報の発信鎖化とマッチング機会の提供、改修等への対援) 2 創業や経営事新への支援徴化 (1) 経営指導などサポート体制の強化(商工会、商工会類所等の経営指導スキルアップ研修(おか)	 1 小さな(田舎) ピジネスの指進 (1) 集落、小グループが取り組むコミュニティピジネス等の発掘、育成拠点(地域ならではのアイデア、資原を活かした商品開発(まか) (2) 地域の人、もの、コトの発信 (3) ビジネスの拠点づくり(拠点ピジネスの指進(地域における生産・加工・販売の仕組みや拠点づくり)、道の駅「よって西土佐」の機能拡充、四万十牛を核とした西土佐地域の産業原興(まか) 	1 情報通信関連産業の誘致促進 (1) 誘致に向けたリサーチ (2) 誘致活動の推進 (県と連動した誘致活動、支援メニューの創設・受入体制づくの) (3) 遊林協発等を利活用したシェアオフィス等の整備
	Xの組み	沿江	5年日	製造品出荷額等 35億円以上交目指す小売・即売業年間間品販売額 800億円以上			
番	産業振興計画の取り組み	5年間(H27~H31)の取り組み	施策とアクションプラン	1 地域資源を舌かした商品開発 (1) 今ある特産品等商品の磨き上げ(品質や珠、ラベル等の磨き上げや表示の適正化(まか) (2) 魅力ある素材アイデアの施起し(事業者間のマッチング(まか) (3) 新たな特産品等の商品開発(企画・開発支援(なか)) (4) 商品の銀路開拓・販路開拓の中核となる人材、組織の育成 (5) 商品開発・販路開拓の中核となる人材、組織の育成 (5) 商品開発・販路開拓の中核となる人材、組織の育成 (6) 商品開発・販路開拓の中核となる人材、組織の育成 (7) 四万十の"食"文化の磨き上げと発信 (1) 四万十の"食"文化の磨き上げ(四万十の食文化の海起し、磨き上げ、塩だたきのブランド化、地産地湾部115制度(まか) (2) 世域を拠点とした食の発信・侵の発信・音及イベント等の開催 一元的な精静発息の仮進) (3) 都市圏等を拠点とした食の発信(県の発信・音及イベント等の開催 一元的な精度(まか) (3) 都市圏等を拠点とした食の発信(県の発信・音なイベント等の開催 一元的な精度(まか) (4) 都市圏等を拠点とした食の発信(県の発信・音なイベント等の開催 「一部の名籍をの人の金銭」(現立を拠点とした食の発信・保証・経過点といる企業を関係) (5) 市話の長寿衛化・南海地震が増加工よる建設事業の確保	 1 中心市街地・商店街の魅力・賑ないづくり (1) 回遊性と集客力向上のた数の拠点づくり (土豫銀行砂地活用による拠点整備 ((原称)) 西土佐道の馬の整備 (ほか)) 西土佐道の馬の整備 ((取り)) 西土佐道の馬の整備 ((取り)) 西土佐道の馬の整備 ((取り)) ((2) 商店街の機能向上 (商店街店性化ワークショップ等の開催、核となる人材の確保、育成 (日か) (3) 日常の賑力、Nにつながる仕組みづくり (イベント等活性化の仕組みづくり、個性力光る 店舗の無負 (日か) (4) 空き店舗が乗り発達がといれる大きが高速化とマッチンが機会の提供、改修等への支援) ((4) 空き店舗が乗りが当時がの対影強化 (5) ((6) 経営指導などサポート体制の強化 (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	1 小さな(田舎)ビジネスの推進 (1) 集落 小グループが取り組むコミュニティビジネス等の発風 育成拠点 (地球ならではのアイデス、資源を活かした商品解発 ほか) (2) 世域の人、もの、コトの発信 (3) ビジネスの拠点づくり(拠点ビジネスの推進(世域における生産・加工・販売の仕組みや拠点づくり)、直販所の拠点機能強化 ほか)	(1) 誘致に向けたリサーチの徹底 (2) 誘致活動の推進(特色ある誘致情報の発言、支援メニューの創設・受入体制づくり(まか) (3) 遊林観兴等を利活用したシェアオフィス等の整備
工業分			戦略のポイント	○顧客に選ばれる"も の"への離き上げ ○顧客に選ばれる"も の"づくり し世消・外海の強に ●観光との一元的な情 報発信・販売	〇回遊荘と集略力向上 への製点で魅力がく り 〇観光とも連携した勝 ないがくの 回暦と意欲の移る店 舗を創出	〇世域のアイデア、取 組みを活かす 〇組織的・多角的な生 産・加工・販売の仕 組みや拠点づくり	〇世域性を活かせる企業の部別 の企業ニーズに合った。 受入環境づくり
迤		*	戦略の柱		中心市街地・商店街等の活性化	中山間地域の商業機能の確保	全 等 。
	「						

	日指す終	# 1	RR信道数 ろろ万人以上を目標光久途数 130万人以上を目地域の誇りが人を誘う、	。 音 おもてなしの :[「大学」	調味は
	アスの正領の国際という。) 食どが一体となった 減重携によるキャン	め育成、商談会等への出展、海外へ 産業間連携による誘客(PR)活動 一ゲッドに合かせたプロモーション	カヌー館) のオート	智化、スキル・組織力の強化、 「環光"には、本市の豊かな環境 (山川庵、景観、暮らしなど)を守 の育みつゴガながら、人、絶済が 循環する観光地を目指すという個 いが込められています。
	BS BG	-	い観光商品づくり Jサーチ (まか) IEと管き上げ) Kメニューづくり (まか) が開光と歴史や文化、 グランの造成・販売、応	大組織の育成、 語談会 発信、 産業間車携にも も、ターゲットに合わ	強化 (四万十ひろば (いとあしずり号) 等の ストップサービス、観 域への愛着や誇りを再 簡占紙、飲食店が連携	置
	BA BA	アコンプ	フィールドを活かした滞在型の観光奇品づくり 1物度 (観光マーケティングリサーチ (まか) 1の磨き Lげ (観光商品の検証と磨き Lげ) 13くり (閑散塊の滞在型電光スニューづくり ほっした観光振興 (自然体験型の観光と歴史や文化) 13成・発信・販売 (まか) 13版報光の推進 (周遊観光プランの造成・販売、)周遊観光の推進 (周遊観光プランの造成・販売)	情報発信の強化 兆化(営業力のある人体 0 0強化(一元的な情報 ・一プロジェクトの実施	いいない (111/12、 しまり (111/12、 しまり (111/12、 しまり (111/13 により (111/13 には (111/13 に) (111/13	アップ 相と指数力の3強に (% 1 ほか) の15単 ア、分割が超えた連携 高数 (ボランティア)
	B3		地域の観光資源、フィールドを活かしだ滞在型の観光商品づくり 観光リサーチの徹底(観光マーケティングリサーチ ほか) 今ある観光商品の磨き上げ(観光商品の検証と磨き上げ) 新たな観光商品づくり(関散観の滞在型電影米スニューづくり(起か) 東の魅力を活かした観光振興(自然体検型の観光と歴史や文化、食どが一体となった 観光プログラムの造成・発言・販売(起か) 広球連携による周遊観光の推進(周遊観光ブランの造成・販売、広球連携によるキャンペーンの展現)	観光商品のセールス及び情報発信の強化 観光商品のセールス強化(営業力のある人材、組織の育成、商談会等への出展、海外へ の営業活動のR足 ほか) 広報・プロモーションの強化(一元的な情報発信、産業間重携による誘客(PR)活動 (しまんとリバーベキューブロジェクトの実施、ターゲットに合わせたプロモーション の展現、ほか)	おもてない環境の整備 ロ万十川流域銀光の拠点施設の整備、機能強化(四万十ひろば(カヌー館)のオート キャンプ場化 ほか) 二次交通の充実(周遊 /ス (III/X、しまんとあしずり号)等の分析・検証 ほか) 同遊しやすい環境の整備(観光窓口のフンストップサービス、観光案办香板・W-H環境整備の限進 ほか) おもてなレサービスの充実 ・観光地としての市民意戦の醸成と浸透(地域への愛着や誇りを再認識できる仕組みづくり ほか)	観光環連事業者のスキルアップ (観光環連事業者のスキルアップ コーディネーターの育成(まか) 異業種との交流・連携の促進 (農林水産業、商工業など、分野を超えた連携の強化(まか) 観光人材の育成、確保 ・地域の観光リーターの育成(ボランティアや の育 インターンシップの受け入れ)
	り組み		+ C O O O O O O O O O O O O O O O O O O		平成39年内信泊者数 ころ方ろう。平成39年間光久後数 118万〇、十四万〇、四、四、四、四、四、四、四、四、四、四、四、四、四、四、四、四、四、四、	440≺ t = 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
	産業振興計画の取り組み				拡充 (まか) パクシー等の 整備促進 が模、配布	徴力の3蛍化、流会の場准)
	産業版画である。1957~1957~1967~1968年	11.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1	は対の観光資源、フィールドを活かした滞在型の観光商品づくり (1) 観光リサーチの徹底(観光マーケティングリサーチ、四万十市のどこが好きキャンペーン) (2) 今ある観光商品の磨き上げ(専門家を活用した観光商品の磨き上げ(ほか) (3) 新たな観光商品づくり(商品づくりつークショップ、地域の産業と連携した新たな観光 商品づくり(ほか) (4) 食の魅力を活かした観光振興(食の発言・普及イベント等の開催(ほか) 2. 広球型携による周遊観光の推進 (1) 広球型増による周遊観光の推進(周遊観光ブランの造成・販売、広球連携によるキャンペーンの展現)	観光商品のセールス及び情報発信の強化) 観光商品のセールス強化(営業力のある人材、組織の育成、商談会等への出展、海外へ の営業活動の限進(まか)) 広報・ブロモーションの強化(一元的な情報発信、産業間車携による誘客(PR)活動、 ターゲットに合わせたブロモーションの展掲(まか)	おもてなし環境の整備 四万十川が攻観がの拠点施設の整備、機能強化(拠点施設の改修社設備等の拡充 (まか) 二次交通の充実 (周遊パス (川パス、しまんとあしずり号)、おもてなしタウシー等の 充実 (まか) () 周遊しやすい環境の整備 (観光案内機能 (観光案内看板、W-Fi環境等) の整備促進、 コーディネイト機能の向上 (まか) おもてないサービスの充実 () 観光地としての市民意識の観戏と浸透 (市民向けのおもてなしマニュアルの作製、配布 (まか)	観光陽車事業者のスキルアップ (1) 観光場車事業者のスキルアップ コーディネーターの育成 ほか) (2) 異業種との交流・連携の促進(農林水産、商工分野など分野存起えた異業種交流会の開催) ・ 観光人材の育成、確保 (1) 地域の観光リーダーの育成 (2) 体験インストラクター、ガイドの育成(遊びの達人の配置(まか) (3) 将来の担い手の発掘・育成(ボランティアやインターンシップの受け入れ)
益	の存間(ユ	F C	1 (C) (D) (E) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D	1 観光商品のセールス及び(1) 観光商品のセールス強の営業活動の促進 (まか)(2) 広報・ブロモーションターゲットに合わせたブターゲットに合わせたブ	おもてなし環境の整備 (1) 四万十川	1 観光騒車事業者のスキ (1) 観光騒車縮線の役割 コーディネーターの育 (2) 異業種との交流・連 2 観光人材の育成、確保 (1) 地域の観光リーダー (2) 体験インストラクタ (3) 将来の担い手の発施
光分		製品のポイント	○市場を高端した観光 資源の発掘・磨き上 げ ○周年で滞在できる "環光" 地づくり ○観光でつなへ産業間 連携と相乗效果 ○"貨" の強みを観光 に活かず	○「待ちの誘客」から 「動く誘客」へ ○市場を明確にした効 果的なセールス活動 ○観光と物産・食など の一元的な情報発信 と販売	の間形の地にしたの の画類にやすい環境が への いまだおけったの意識 を高める (市民のおもてなし意 等の額以 の諸国類だコイトスト	O役割比対色の組織化 の産業電車機と組織力 を活かす の観光人材、リーダー の発掘・育成 の観光ポランティアの 活用
観	Į,	製造の特		観光啓記の外荷の推進	おもてなりの同上	組織力の強化と観状リーダーの発掘・管成
##	田田	\$ () #	中内信泊書数 21万1,000人物光入込客数 125万6,000	(T紹) ((T紹)		